

平成29年度

事業報告書

公益財団法人 日本農林漁業振興会

第1 事業報告

平成29年度も、公益目的事業である農林水産祭事業（農林水産業及び農山漁村の振興発展のための表彰、普及及び消費者啓発事業）を行った。

I 農林水産祭事業

1 顕彰普及事業

(1) 優秀農林水産業者の選賞審査

平成29年度（第56回）農林水産祭参加表彰行事において、農林水産大臣賞を受賞した7部門（農産・蚕糸、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営及びむらづくり）の優秀な農林水産業者487点について、農林水産祭中央審査委員会（以下「中央審査委員会」という。会長：千賀裕太郎（東京農工大学名誉教授））において書類審査及び現地調査が行われ、7部門21点の優れた技術・経営等に天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞と併せて、女性の活躍として内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞の受賞者（以下「三賞受賞者」という。）を選定した。表彰事業開始以来の農林水産大臣賞総点数は、31,397点となった。

なお、選賞審査に当たり、中央審査委員会総会、主査等会議及び8分科会を次のとおり開催した。

（参考1）分科会名、主査氏名及び所属・職名

分科会名	主査氏名	所属・職名
経営 (多角化経営兼任)	梅本 雅	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター 所長
農産・蚕糸	白岩立彦	京都大学大学院 教授
園芸	川城英夫	全国農業協同組合連合会 主席技術主管
畜産	寺田文典	東北大学大学院 教授
林産	岡田秀二	富士大学 学長
水産	生田和正	(国研)水産研究・教育機構 瀬戸内海区水産研究所長
むらづくり	浅野耕太	京都大学大学院 教授

(※所属・職名は、平成29年8月1日現在)

① 第1回総会、主査等会議

期 日 平成29年8月1日（火）
場 所 農林水産省第2特別会議室
議 題 ア 専門委員の委嘱について
イ 分科会の編成及び主査の指名について
ウ 審査日程等について
エ その他

※ 主査等会議は、総会終了後開催し、①分科会主査の役割等、②分科会の運営及び審査上の留意点、③その他について報告・協議。

② 第2回総会、主査等会議

期 日 平成29年10月18日（水）

場 所 農林水産省第2特別会議室

議 題 天皇杯等選賞審査部門別報告及び選賞決定について

※ 主査等会議は、総会終了後開催し、①審査に当たって問題となった事項、②その他について報告・協議。

③ 分科会（分科会毎に各2回開催）

期 日 平成29年8月上旬～9月下旬

場 所 農林水産省内会議室

議 題 各部門の天皇杯等三賞候補の選定等について

（参考2）各分科会開催状況及び現地調査地

分科会名	分科会開催月日	現地調査地
経 営	第1回 8月 2日 第2回 9月26日	茨城県、群馬県
農産・蚕糸	第1回 8月14日 第2回 9月11日	新潟県、京都府 兵庫県
園 芸	第1回 8月 9日 第2回 9月11日	奈良県、長野県、 熊本県
畜 産	第1回 8月18日 第2回 9月15日	宮崎県、鹿児島県、 北海道
林 産	第1回 8月 8日 第2回 9月 5日	宮崎県、静岡県、 兵庫県
水 産	第1回 8月10日 第2回 9月19日	宮城県、岩手県、 長崎県
多角化経営	第1回 8月 2日 第2回 9月26日	茨城県、滋賀県、 新潟県
むらづくり	第1回 8月22日 第2回 9月19日	鹿児島県、愛媛県 福島県

（参考3）平成29年度 三賞受賞者一覧

区 分	部 門 別	受 賞 者 名
天 皇 杯	農産・蚕糸	有限会社 グリーンファーム清里 （代表：保坂 一八）
	園 芸	中尾 佳照 * 中尾 由美 *
	畜 産	有限会社 香川畜産 （代表：香川 雅彦）
	林 産	林田 喜昭
	水 産	株式会社 高政 （代表：高橋 正典）
	多角化経営	J Aなめがた 甘藷部会連絡会 （代表：箕輪 秋雄）

	むらづくり	阿室校区活性化対策委員会 (代表：後藤 恭子)
内閣総理大臣賞	農産・蚕糸	辻 喜代治
	園 芸	中野市農協ぶどう部会 (代表：上原 真一)
	畜 産	株式会社 玉牧場 (代表：久留須 茂)
	林 産	森下 廣隆
	水 産	綾里漁業協同組合 青壮年部 (代表：大平 秀男)
	多角化経営	栗見出在家町 魚のゆりかご水田協議会 (代表：村林 又藏)
	むらづくり	からり直売所 出荷者運営協議会 (代表：田中 京子)
	女性の活躍	原 範子
日本農林漁業振興会会長賞	農産・蚕糸	中谷農事組合法人 (代表：小嶋 昭則)
	園 芸	株式会社 前田ファーム (代表：前田 博智)
	畜 産	村越 敏春 * 村越 晴子 *
	林 産	東河内生産森林組合 (代表：長野 豊彦)
	水 産	株式会社 杉永蒲鉾 (代表：杉永 生悟)
	多角化経営	笠原 節夫 * 笠原 秀子 *
	むらづくり	特定非営利活動法人 ゆうきの里東和 ふるさとづくり協議会 (代表：武藤 一夫)
	女性の活躍	富士見農産物加工組合 (代表：近藤 昌子)

(注) 受賞者名欄の*印は、夫婦連名による受賞を示す。

(2) 農林水産祭式典等

① 式典

平成29年度(第56回)農林水産祭式典を勤労感謝の日の11月23日(木)に明治神宮会館において開催した。

式典には、三賞受賞者、農林水産大臣賞受賞者、農林水産省幹部、中央・地方の農林水産関係者等約870名が参列した。

齋藤健 農林水産大臣の主催者挨拶の後、生産者を代表し「農産・蚕

糸部門」天皇杯受賞者 有限会社 グリーンファーム清里代表 保坂一八氏が、消費者を代表し明治神宮総代 大島賢三氏が、それぞれ収穫感謝の言葉を述べた。

次に、千賀裕太郎 中央審査委員会会長の天皇杯等三賞の選賞審査報告の後、天皇杯は 齋藤健 農林水産大臣から表彰状が、林良博 本会会長から天皇杯(カップ)が授与された。内閣総理大臣賞は 齋藤健 農林水産大臣から、日本農林漁業振興会会長賞は 林良博 会長から、それぞれ授与された。

引き続き、内閣総理大臣からのメッセージを紹介し、続いて、衆議院議長及び参議院議長等から寄せられた祝電が披露された。

なお、会場1階ロビーにおいて、三賞受賞者(天皇杯受賞者はその業績を含めて)を写真パネルで紹介した。また、併せて農林水産大臣賞受賞者名をパネルで展示し紹介した。

② 大臣懇談会

式典終了後、三賞受賞者を囲んで農林水産大臣懇談会が同会館において行われた。

(3) 天皇皇后両陛下への拝謁及び業績説明

平成30年1月26日(金)、天皇杯受賞者は、皇居宮殿北溜において天皇皇后両陛下に拝謁し、受賞者の代表から天皇杯受賞に対するお礼言上を行い、天皇陛下から受賞者に温かい励ましのお言葉をいただいた。引き続き、受賞者それぞれの業績について天皇皇后両陛下へのご説明を行った。

なお、宮内庁担当官の案内により、拝謁に先立って皇居特別参観が行われ、バスと徒歩で宮殿、中庭、二重橋、道灌堀、賢所、生物学研究所(水田)、紅葉山御養蚕所等を参観した。

(4) 優秀農林水産業者に係るシンポジウム

天皇杯受賞者等の優れた技術・経営及び優良なむらづくりの事例の業績を発表し、その業績を普及するため、平成23年度からシンポジウムを開催してきたが、平成25年度からさらに広く普及するため地方においても開催し、参加者に天皇杯受賞者の優れた農林水産業の経営・技術への取組の紹介として、本年度は次のとおり実施した。

① 平成29年12月5日(火)、港区三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、白岩立彦 京都大学大学院教授の選賞審査報告の後、天皇杯を受賞した有限会社 鍋八農産代表 八木輝治氏(平成28年度農産部門)による業績内容の発表を行った。

また、白岩立彦 中央審査委員会農産・蚕糸分科会主査をコーディネーターとして、受賞者の八木氏並びに中央審査委員会委員をコメントーターとした意見交換を行い、その後、参加者(農林水産関係団体、都道府県及び農林水産省関係者等)と質疑応答を行った。

- ② 平成30年2月13日（火）、宮崎県宮崎市において、寺田文典 農林水産祭中央審査委員会畜産分科会主査による選賞審査報告の後、天皇杯を受賞した有限会社香川畜産代表 香川雅彦 氏（平成29年度畜産部門）による業績内容の発表を行った。
- また、寺田主査をコーディネーターとして、受賞者の香川 氏並びに中央審査委員会委員2名をコメンテーターとした意見交換を行い、その後、参加者（宮崎県農林水産関係団体、九州農政局管内の生産者等）と質疑応答を行った。
- ③ 平成30年2月20日（火）、鹿児島県奄美市において、浅野耕太 農林水産祭中央審査委員会むらづくり分科会主査による選賞審査報告の後、天皇杯を受賞した宇検村阿室校区活性化対策委員会代表 後藤恭子 氏（平成29年度むらづくり部門）による業績内容の発表を行った。
- また、浅野主査をコーディネーターとして、受賞者の後藤 氏並びに中央審査委員会委員、特定非営利活動法人TAMASU 理事長等をコメンテーターとした意見交換を行い、その後、参加者（鹿児島県農林水産関係団体、九州農政局管内の生産者等）と質疑応答を行った。
- (5) 優秀農林水産業者の業績等の普及啓発・広報宣伝
農林水産祭の趣旨及び農林水産業に係る優良事例の普及啓発を図るため、次のとおり幅広く普及啓発に努めた。
- ① 出版物による普及啓発
優秀農林水産業者の業績の普及を図るため、三賞受賞者の業績に係る出版物「農林水産祭受賞者の業績(技術と経営)」(500部)、「栄えの受賞に輝く」(1,150部)、「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」(300部)、「農林水産祭(クローズアップ)」(10,000部)を作成し、関係者に配布した。
- ② 出版物の電子情報化
これまでの農林水産業に係る優良事例の普及啓発を図るため、第1回から第55回まで発行した出版物「農林水産祭受賞者の業績(技術と経営)」等について電子情報化を行ってきたが、平成29年度も前記出版物について電子情報化を行い、併せて本会ホームページに掲載した。
- ③ ホームページによる広報・宣伝
農林水産祭及び三賞受賞者の業績について、農林水産省及び本会ホームページ等で広報・宣伝を行った。
- ④ 天皇杯受賞者等の業績発表会への協賛
三賞受賞者等の業績を広く紹介する一環として、農林水産関係団体が受賞者の参加を得て実施する研究会等に協賛した。
(日本農林漁業振興協議会主催 「日本農林漁業のトップリーダー発表大会」)

2 啓発事業

平成29年度実りのフェスティバルは、農林水産業と食に対する国民一般の理解の増進と農林水産物の消費拡大等に資するため、11月10日(金)・11月11日(土)の2日間、東京都豊島区の池袋・サンシャインシティにおいて開催した。

なお、2日間の来場者数は、約4万8千人であった。

(1) 皇室のご来臨

11月10日(金)、開場に先立ち、秋篠宮同妃両殿下のご来臨を賜り、磯崎陽輔 農林水産副大臣等のご案内により、天皇杯コーナー、政府特別展示コーナー(注1)、都道府県地域農林水産展コーナー(注2)、農林水産関係団体コーナー(注3)をご視察頂いた。

(注1) 政府特別展示コーナー : (国研) 農研機構 果樹茶業研究部門、
(国研) 水産研究・教育機構

(注2) 都道府県地域農林水産展コーナー : 青森県、山形県、栃木県、埼玉県、
長野県、富山県、岐阜県、京都府、
徳島県、香川県、佐賀県、熊本県、
宮崎県

計13府県

(注3) 農林水産関係団体コーナー : (一財) 大日本蚕糸会、
全国農業協同組合中央会

(2) 三賞受賞者の紹介展示及び政府特別展示コーナー等

① 「三賞受賞者コーナー」では、天皇杯受賞者の業績概要と、内閣総理大臣賞受賞者及び日本農林漁業振興会会長賞受賞者を、写真パネルで紹介した。

② 政府特別展示コーナーでは、農林水産分野における気候変動、生物多様性保全と農林水産業の役割、遺伝資源の大切さ、食品表示とJAS規格、家畜や畜産物の生産過程や技術開発、農業女子の活動紹介や女性が輝く社会への発信、和の空間、米の消費拡大の取組、ニホングリの消費拡大の取組、木づかい運動、水産資源の持続的利用の取組等政府が行っている施策等をパネル、パンフレット、模型、映像等により分かり易く紹介した。

(3) 都道府県の出展コーナー

① 地域農林水産展コーナー

36都道府県参加の下、全国各地の「郷土特産農林水産物」の展示、販売、試飲・試食等を行った。

② 都道府県技術・経営普及展コーナー

22道府県が参加し、府県で開発した独自の新技术や特徴ある農林水産物について、実物、パネル、パンフレット等により展示・紹介した。

③ 東日本大震災被災地復興支援コーナー

東日本大震災被災地復興支援活動として、全国漁青連（全国漁業協同組合連合会）は東日本大震災被災地の漁業協同組合青年部の支援及び風評被害払拭のための活動を紹介した。また、公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会は東日本大震災被災地の支援状況を写真と絵により紹介した。

(4) 農林水産関係団体コーナー

14の農林水産関係団体の参加を得て、団体の業務に関する展示、実演、即売等を行った。

① JAひろば

JAグループでは、米粉の飲食コーナー、展示コーナー及び体験コーナーによる紹介等を行った。

② 参加・体験型コーナー

家族ぐるみで参加し楽しめるイベントとして、公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会による「ポニーの体験乗馬」を行った。また、農畜産物の一つとしてジャンボうさぎ（秋田県美郷町）を展示した。

③ その他

各農林水産関係団体では、来場者が参加できる体験コーナー、クイズ、試飲・試食が楽しめるコーナー、各種展示等を行った。

(5) その他

ゆるキャラとのふれあい及び撮影会を行った。

(6) 広報・宣伝

実りのフェスティバルについて、本会ホームページ及び「東京メトロ沿線だより」への掲載のほかマスメディア等による広報、実りのフェスティバル会場周辺のJR駅等にポスターを掲示し周知に努めた。

また、都道府県、出展団体、関係省庁等、首都圏における農産物直販所・道の駅、都内アンテナショップ等にチラシを配布し広報・宣伝に努めた。

(7) 関連行事

農林水産祭を祝い、実りの喜びを分かち合うとの趣旨から、福祉施設への農林水産物の贈呈を、8道県及び1団体の協力を得て実施した。提供された農林水産物は、実りのフェスティバル終了後、東京善意銀行を通じて、都内の福祉施設へ贈呈された。

なお、平成29年12月、東京都社会福祉協議会会長から本会に対し感謝状が贈られた。

Ⅱ 会 議

事業の円滑な推進を図るため、次の諸会議を開催した。

1 農林水産祭実行委員会

農林水産祭実行委員会(会長：農林水産省大臣官房長)を次のとおり開催した。

期 日	平成29年5月29日(月)
場 所	農林水産省共用第3会議室
議 題	ア 農林水産祭全体計画について イ 実りのフェスティバル実施計画について ウ 農林水産祭実施スケジュールについて エ 農林水産祭における部門の見直しについて オ その他

2 農林水産祭担当者会議

農林水産祭担当者会議として、次のとおり都道府県担当者会議を2回、実りのフェスティバル出展団体担当者会議を1回開催した。

(1) 第1回都道府県担当者会議

期 日	平成29年7月13日(木)
場 所	三番町共用会議室
議 題	ア 農林水産祭全体計画について イ 顕彰普及関係行事等について ウ 啓発関係行事について エ 農林水産祭参加表彰行事について オ その他

(2) 実りのフェスティバル出展団体担当者会議

期 日	平成29年10月5日(木)(午前)
場 所	農林水産省共用第1会議室
議 題	ア 農林水産祭全体計画について イ 実りのフェスティバルについて (注、会場の下見及び説明会を別途10/6午前に開催) ウ その他

(3) 第2回都道府県担当者会議

期 日	平成29年10月5日(木)(午後)
場 所	農林水産省共用第1会議室
議 題	ア 顕彰普及関係行事について イ 実りのフェスティバルについて (注、会場の下見及び説明会を別途10/6午前に開催) ウ その他

3 評議員会

評議員会は、次のとおり定時評議員会の他に臨時評議員会を2回開催した。

(1) 定時評議員会

期 日	平成29年6月28日（水）
場 所	三会堂ビル2階 A会議室
議 題	ア 平成28年度事業報告及び決算について イ 評議員の任期満了に伴う改選について ウ 理事及び監事の任期満了に伴う改選について エ 平成29年度事業計画の変更について ウ その他

(2) 臨時評議員会

期 日	平成29年9月5日（火）
場 所	三会堂ビル2階 A会議室
議 題	ア 評議員の選任等について イ 理事の選任等について ウ その他

(3) 臨時評議員会

期 日	平成30年3月26日（月）
場 所	三会堂ビル2階 A会議室
議 題	ア 平成30年度事業計画及び収支予算について イ 資金調達及び設備投資の見込みについて ウ 公益財団法人日本農林漁業振興会定款の一部改正につい て エ その他

4 理事会

理事会は、次のとおり5回開催した。

(1) 第1回

期 日	平成29年5月16日（火）
場 所	三会堂ビル2階 A会議室
議 題	ア 平成28年度事業報告及び決算について イ 平成29年度定時評議員会の開催について ウ 平成29年度事業計画の変更について エ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について オ 平成28年度における資産運用状況の報告について カ その他

(2) 第2回

期 日 平成29年6月28日（書面決議）
議 題 ア 代表理事（理事長）の選定について
イ 理事長の職務代理及び職務代行の順序について
ウ 業務執行理事の選定について

(3) 第3回

期 日 平成29年7月31日（書面決議）
議 題 平成29年度臨時評議員会の開催について
（内容は、会議の日時、場所及び会議の事項について）

(4) 第4回

期 日 平成29年9月11日（月）
場 所 三会堂ビル2階 A会議室
議 題 ア 代表理事（理事長）の選定について
イ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
ウ その他

(5) 第5回

期 日 平成30年3月13日（火）
場 所 三会堂ビル2階 A会議室
議 題 ア 平成30年度事業計画及び収支予算について
イ 資金調達及び設備投資の見込みについて
ウ 平成29年度臨時評議員会の開催について
エ 公益財団法人日本農林漁業振興会定款の一部改正につい
て
オ 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
カ その他